

## NY マーケットレポート (2017年7月20日)

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となったことから、ドルは序盤から小動きの展開が続いた。その後、ロシア政府による米大統領選干渉疑惑を巡り、米特別検察官がトランプ大統領のビジネスに捜査範囲を拡大しているとの報道を受けて、政権運営の先行きに対する懸念が高まり、ドルが主要通貨に対して下落した。下げ一巡後は、米国債利回りの上昇などを受けて、下げ幅を縮小する動きとなった。一方、ドラギECB総裁が理事会後の会見で、必要に応じて追加の緩和措置を講じると表明したものの、経済成長について楽観的な見方を示したことや、テーバリングの協議を今秋に開始すると明らかにしたことが好感され、ユーロは主要通貨に対して上昇した。また、南ア中銀が予想外の利下げを決定したことを受けて、南ア・ランドは主要通貨に対して下落した。

### 2017年7月20日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.28	112.32	111.77
EUR/JPY	129.13	129.26	128.79
GBP/JPY	145.96	146.20	145.57
AUD/JPY	88.92	89.32	88.77
EUR/USD	1.1500	1.1533	1.1500

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.41	112.14
EUR/JPY	129.33	128.83
GBP/JPY	146.28	145.16
AUD/JPY	88.99	88.75
EUR/USD	1.1513	1.1480

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.90	112.34	111.49
EUR/JPY	130.17	130.26	128.78
GBP/JPY	145.17	145.70	144.70
AUD/JPY	89.05	89.15	88.72
NZD/JPY	82.84	83.03	82.40
EUR/USD	1.1633	1.1656	1.1479
AUD/USD	0.7958	0.7969	0.7914

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21611.78	-28.97
S&P500	2473.45	-0.38
NASDAQ	6390.00	+4.96
日経225 (CME)	20090	+75
トロント総合	15264.64	+19.93
ボルサ指数	51144.14	+57.21
ボベスパ指数	64938.02	-241.90

#### 7/21 経済指標スケジュール

08:50 【日本】7月対内外証券投資  
 12:00 【ニュージーランド】6月クレジットカード支出  
 14:30 【日本】6月全国百貨店売上高  
 14:30 【日本】6月東京地区百貨店売上高  
 16:00 【スイス】6月マネーサプライM3  
 17:30 【英国】6月公共部門純借入所要額  
 17:30 【英国】6月公的部門純借入額  
 21:30 【カナダ】6月消費者物価指数  
 21:30 【カナダ】5月小売売上高  
 22:00 【メキシコ】6月失業率

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1245.50	+3.50
NY 原油	46.92	-0.33
CMEコーン	391.00	+8.50
CBOT 大豆	1027.00	+14.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.352%	1.356%
3年債	1.508%	1.519%
5年債	1.818%	1.823%
7年債	2.073%	2.080%
10年債	2.261%	2.268%
30年債	2.830%	2.848%

ドイツ10年債	0.530%	0.542%
英国 10年債	1.205%	1.192%

#### 7/21 主要会議・講演・その他予定

**NY 市場レポート**

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州主要政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)

欧州限界貸出金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

欧州中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)



出所 : Bloomberg

20 : 50

ECB 声明

- ・「見通し悪化なら QE の規模と期間を拡大する」
- ・「QE はインフレ軌道が持続的に調整していくまで継続」
- ・「金利は QE 終了後、相当期間にわたり現行水準にとどまる」

21 : 30

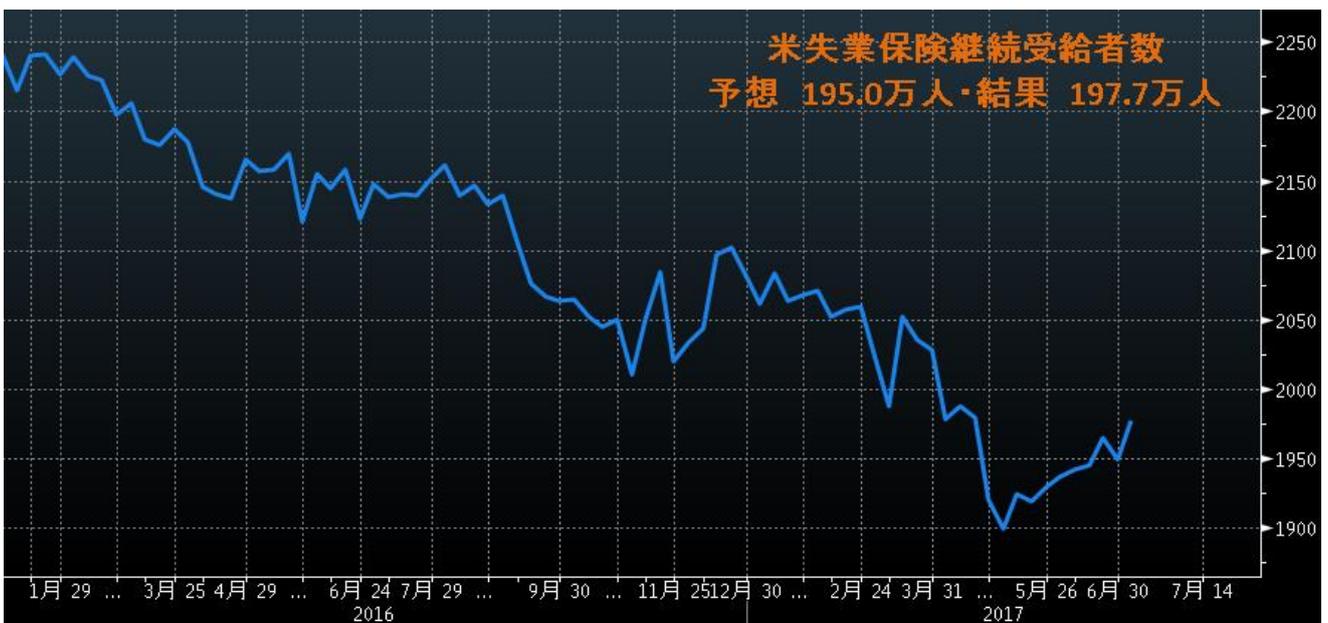
◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 23.3 万件 (予想 24.5 万件・前回 24.8 万件)  
 前回発表の 24.7 万件から 24.8 万件に修正

米失業保険継続受給者数 197.7 万人 (予想 195.0 万人・前回 194.9 万人)  
 前回発表の 194.5 万人から 194.9 万人に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/07/15	233,000	-15,000	243,750	*****	*****
17/07/08	248,000	-2,000	246,000	1,977,000	1.4%
17/07/01	250,000	+6,000	243,500	1,949,000	1.4%
17/06/24	244,000	+2,000	242,250	1,965,000	1.4%
17/06/17	242,000	+4,000	245,000	1,945,000	1.4%
17/06/10	238,000	-7,000	243,250	1,942,000	1.4%
17/06/03	245,000	-2,000	242,000	1,935,000	1.4%
17/05/27	255,000	+20,000	239,750	1,929,000	1.4%
17/05/20	235,000	+2,000	235,500	1,919,000	1.4%
17/05/13	233,000	-3,000	241,000	1,924,000	1.4%
17/05/06	236,000	-2,000	243,500	1,899,000	1.4%

受給者数は集計が1週間遅れる

◀ 経済指標のポイント ▶

米失業保険申請件数は、前週比-1.5万件的23.3万件となり、2週連続で減少した。申請件数の4週移動平均は、前週比-2250件の24万3750件。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.8万人の197.7万人となり、2週ぶりに増加した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+8750人の195.9万人。受給者比率は、前週と変わらず1.4%だった。

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月フィラデルフィア連銀景況指数 19.5 (予想 22.9・前回 27.6)



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ フィラデルフィア連銀指数 ▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
景況指数	19.5	27.6	38.8	22.0	32.8	43.3
仕入価格	19.1	23.6	24.2	33.7	40.7	29.9
販売価格	9.0	20.6	15.3	16.6	20.6	10.6
新規受注	2.1	25.9	25.4	27.4	38.6	38.0
出荷	12.2	28.5	39.1	23.4	32.9	28.6
受注残	7.2	14.0	9.0	6.6	14.4	10.7
入荷遅滞	7.4	13.9	6.4	13.2	4.5	4.1
在庫水準	0.7	5.8	1.4	17.8	11.8	-4.7
雇用者数	10.9	16.1	17.3	19.9	17.5	11.1

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
景況指数	36.9	31.3	34.8	45.4	59.5	53.5
仕入価格	46.6	40.9	42.7	34.7	55.7	51.1
販売価格	29.7	28.7	22.9	28.6	40.2	23.5
新規受注	39.4	31.9	47.2	55.9	61.0	51.5
出荷	25.9	38.7	38.5	44.7	54.8	51.7
受注残	11.4	3.4	11.5	22.2	16.7	19.5
入荷遅滞	1.6	0.2	7.8	4.5	7.7	11.5
在庫水準	25.8	20.4	7.4	12.1	16.3	14.1
雇用者数	27.0	30.0	29.2	37.6	38.5	28.5

21 : 40

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「景気拡大がまだ物価に波及していない」
- ・「極めて大規模な金融緩和が必要」
- ・「基調的なインフレ圧力はまだ弱い」
  
- ・「今後数ヵ月にわたり現在の水準程度のインフレ率見込む」
- ・「政策委員会、ガイダンス維持は全会一致だった」
- ・「政策委員会、QE 変更時期を設定しないことで全会一致」
  
- ・「ECB は、インフレ率が次第に目標に到達することに自信がある」
- ・「金融環境の引き締めを、ECB はまったく望んでいない」
  
- ・「ECB は、日銀型の政策導入は議論しなかった」
- ・「ECB は、政策パッケージの柔軟性を利用する用意がある」
- ・「テーパリングのシナリオは、議論されていない」



出所 : Net Dania

22 : 20

◀ 経済指標の結果 ▶

南ア政策金利発表 6.75% (予想 7.00%・前回 7.00%)



出所 : Bloomberg



出所 : Net Dania

◀ポイント▶

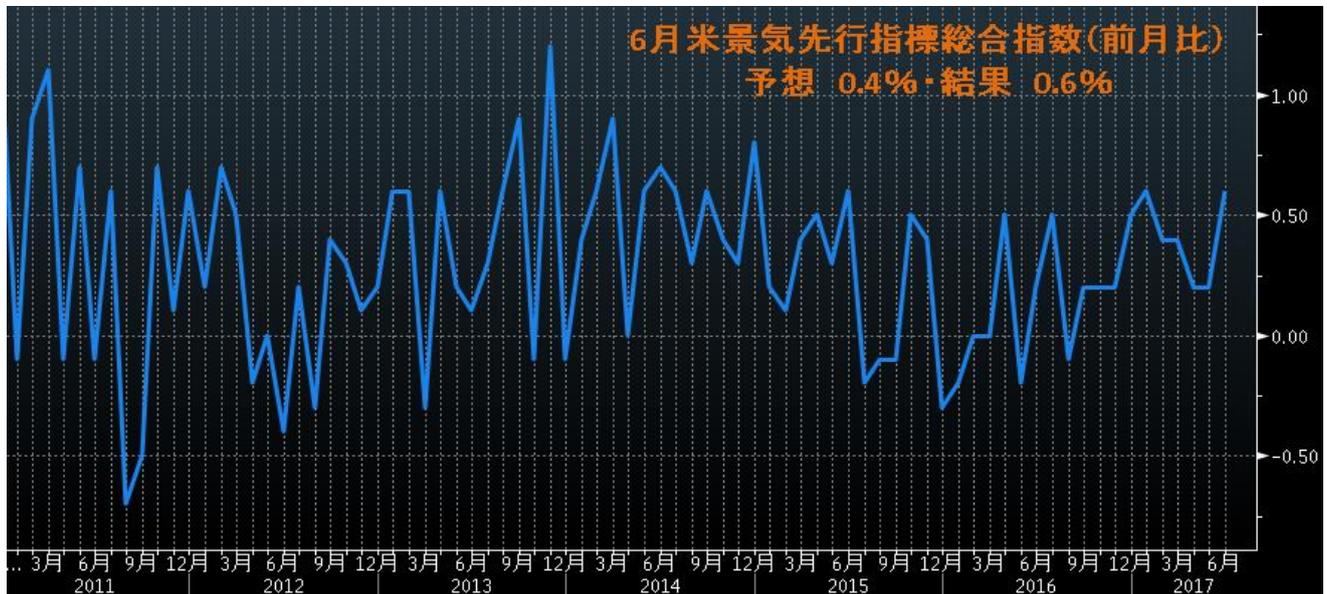
南ア中銀は、主要政策金利のレポ金利を 7.00%から 0.25%引き下げ 6.75%とした。利下げは 2012 年 7 月以来、5 年ぶり。南ア中銀総裁は、利下げを決めた理由として、経済成長が弱いことや物価の上昇圧力が和らいでいる点を挙げた。また、2017 年の成長見通しをこれまでの 1.0%から 0.5%とし、2018 年の見通しはこれまでの 1.5%から 1.2%へそれぞれ引き下げた。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米景気先行指標総合指数(前月比) 0.6% (予想 0.4%・前回 0.2%)

前回発表の0.3%から0.2%に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 米景気先行指数 ▶

6月・5月・4月・3月・2月・1月

先行指数・・・0.6・0.2・0.2・0.4・0.4・0.6

一致指数・・・0.2・0.3・0.2・0.1・0.3・-0.1

遅行指数・・・0.2・0.1・0.3・0.2・0.2・0.2

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月欧州 消費者信頼感 -1.7 (予想 -1.1・前回 -1.3)



出所 : Bloomberg

**指標結果データ**

《ユーロ圏消費者信頼感指数》

7月・6月・5月・4月・3月・2月

ユーロ圏消費者信頼感指数・・・1.7・・・1.3・・・3.3・・・3.6・・・5.0・・・6.2

EU 消費者信頼感指数・・・・・・2.3・・・2.2・・・3.3・・・3.4・・・4.2・・・5.2

**23 : 31**

モラー特別検察官、トランプ大統領や関係者のビジネスに関わるさまざまな取引まで捜査範囲を拡大との報道



《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ドラギ ECB 総裁が理事会後の記者会見で物価上昇の鈍さに言及したことを材料に、ドイツなどの国債が値上がりしたことが好感され、買いが先行した。フィラデルフィア連銀指数が市場予想を下回ったことも、支援材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.82%（前日2.85%）、10年債が2.25%（2.27%）、7年債が2.07%（2.08%）、5年債が1.82%（1.83%）、3年債が1.52%（1.52%）、2年債が1.35%（1.36%）。

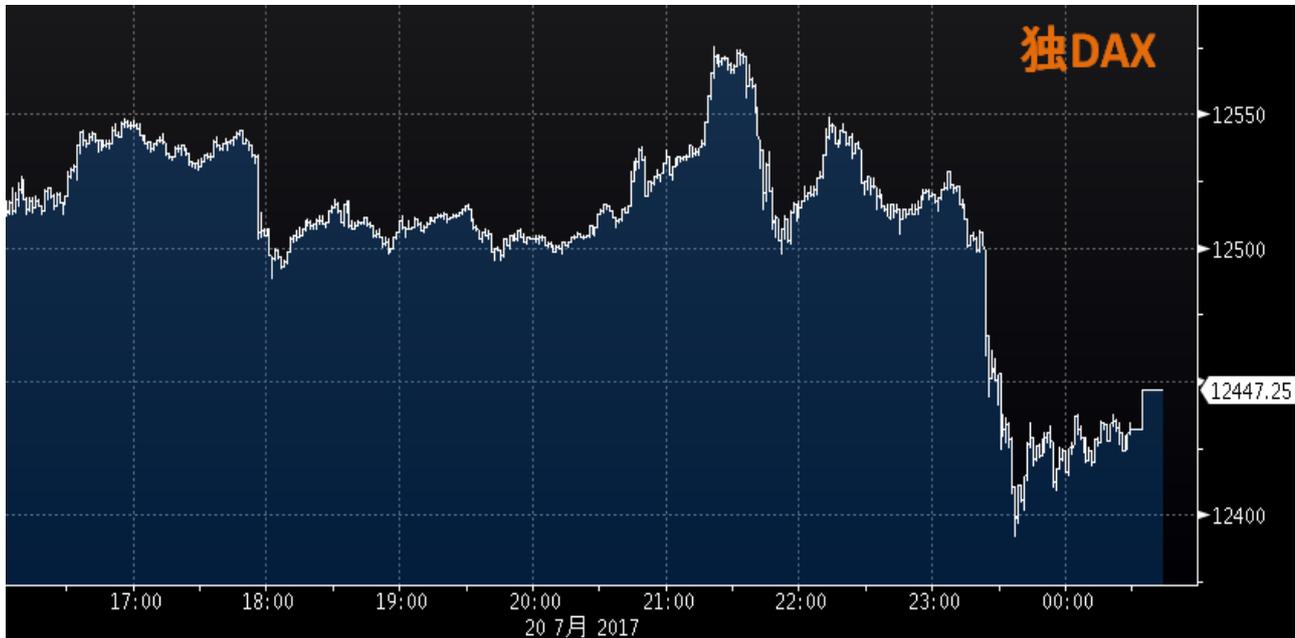
**2 : 00**

《米 10 年物 TIPS 債入札》

最高落札利回り・・・・・・0.489%（前回 0.420%）  
 最低落札利回り・・・・・・0.320%（前回 0.311%）  
 最高利回り落札比率・・・・80.49%（前回 73.08%）  
 応札倍率・・・・・・1.98倍（前回 2.56倍）  
 発行額・・・・・・130億ドル（前回 110億ドル）

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。アジア株が総じて堅調だったことを受け、序盤は買いが先行した。その後は、米国のロシアゲート問題の先行き不透明感が高まり、独 DAX 指数はマイナス圏まで下落し小幅安となった。ただ、英 FT100 指数は、終盤まで堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

### 《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 3.50 ドル高の 1 オンス=1245.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、モラー特別検察官がトランプ大統領のビジネスに捜査範囲を拡大するとの報道を受けて、政権運営の先行き懸念が広がり、比較的安全な資産とされる金を買われた。そして、ドルがユーロなどに対して下落し、ドルの代替資産としての需要も強まった。

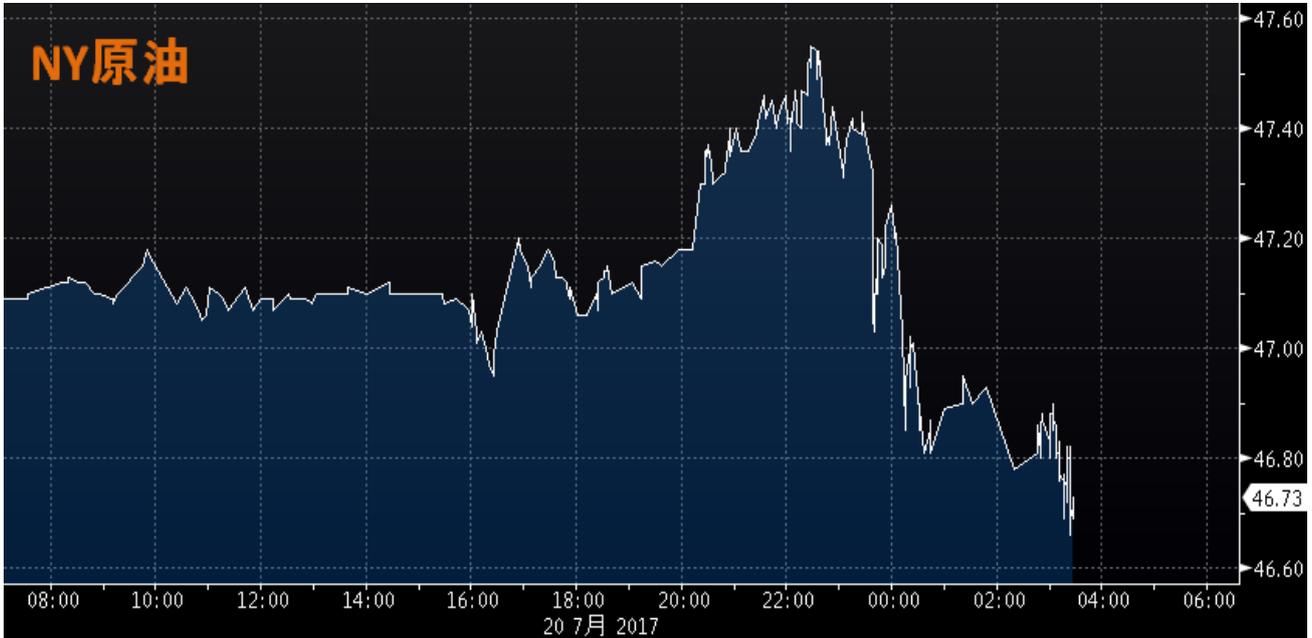


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.33 ドル安の 1 バレル=46.92 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日に発表された米原油在庫の減少が引き続き材料視されて買いが先行した。ただ、その後は利益確定売りに押され、マイナス圏で引けた。8 月渡しの取引は 20 日で終了した。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、序盤は堅調な動きが見られたものの、主要株価が前日に終値ベースの過去最高値を更新したことを受け、利益確定の売りが優勢となり、主要株価は軟調な動きとなった。その後は、下げ幅を縮小する動きとなり、ダウ平均株価は一時プラス圏まで値を戻したものの、小幅安で終了した。一方、ナスダックは小幅高となり、終値ベースの最高値を連日更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となり、ドルは限定的な動きとなった。その後、米特別検察官がトランプ氏のビジネスに捜査範囲を拡大させていると、関係者の話が報道されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して下落した。ただ、下げ一巡後は、米国債利回りの上昇を受けて、下げ幅を縮小する動きとなった。一方、ドラギ ECB 総裁が、会見で経済成長について楽観的な見方を示したことが好感され、ユーロは主要通貨に対して上昇となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。